

事務局移転問題、その後の経過

かたつむり21事務局長 松木 彰造

2006年度前期(4月～9月)もあつという間に過ぎてしまいました。

4月のSG創立40周年アニバーサリー・ジャンボリーに始まり、6～7月は新事務所の物件探し、そして8月はSGキャンプへの参加等々、時の流れの速さを痛感した半年でした。この間の皆様方のご支援・ご協力、本当にありがとうございました。

ところで、今年の最優先課題でありました事務局移転問題の経過をご報告します。

現在お借りしている事務所(旧大阪婦人ホーム)の建て替え・新施設建設計画が具体化し、本年4月に大阪婦人ホームから、8月には事務所を明け渡してほしい旨の申し出がありました。年度前半はジャンボリーやキャンプなど行事が相次ぐ等の事情をご理解頂き、とりあえず10月末までの延長使用をご了承頂いたことはすでに総会の議案でご存じのことと思います。

それでも6月中頃から新事務所の物件探しを始めました。会員より紹介された数件の物件の中に、これだと思う物件(JR環状線・地下鉄千日線「鶴橋」駅徒歩5分)に絞り、役員会とSG委員会で検討を重ねましたが、部屋の面積が約40㎡しかなく、狭すぎるとの結論に達し、この物件は見送ることになりました。“また、一から事務所探し…”と少し気が重くなりました。

一方、この間に旧大阪婦人ホームの整備計画が少し延期なるという状況の変化があり、再度、事務所使用期限の延長をお願いすることにしました。以前から私たちのずさんな事務所の管理体制に不安を抱かされていた阿部施設長さんに、以下の二点をお約束し、10月以降の使用を認めていただきました。

第一点は、火気の使用厳禁、寝泊まりしない、使用後の施錠確認など、当初お借りする際の条件を再確認し、全員が守れる体制をとる。このため、事務所の玄関等に「使用ルール」を掲示する。

第二点は、使用後の施錠、消灯等を細かくチェックす

る「退出時点検リスト」を備え付け、持ち帰りカードを持っているメンバーが責任を持って記入する。

こうした取り組みを実施することにより、当分の間の継続使用をお認めいただいた次第です。

これらの約束事については、当然のこととして守って下さい。お借りできる期間は大阪婦人ホームの今後の事業の進捗状況によりますので確定はしておりませんが、施設の整備計画が再度具体化すれば、2ヶ月前には明け渡しのご連絡を頂くことになっています。

新事務所探しはそれからでも遅くはないと思いますが、引き続き、新事務局にふさわしい建物等の情報をお寄せ下さい。

新しい会員の皆さまです。

本年1月以降、本会の趣旨にご賛同いただき、次の方々が入会して下さいました。

坂東 輝雄さん	NTT西日本勤務
平田 紀男さん	ダイキン工業(株)勤務
杉岡 俊男さん	私立学校校長
西 義信さん	会社役員
柏尾 美紀子さん	看護師・元SGメンバー

会費納入と会員拡大のお願い

本会は、会員の皆さまからの会費及び寄付のみによって維持しております。会費の納入を励行して下さい。

なお、会費未納になっている方には、その旨のお知らせと振り込み用紙を同封しておりますので宜しく願います。また、**振り込みにあたっては、郵便局の窓口ではなく、ATMをご利用いただくと、本会が納付する手数料が安くなります。**

また、会員になって下さる方も是非ご紹介下さい。

SG後援会「かたつむり21」

531-0072 大阪市北区豊崎3丁目11番1号

旧大阪婦人ホーム 内

会長：黒川 芳朝 事務局長：松木 彰造

電話・FAX：072-661-4625 (松木)

Mail：akbkj500@amber.plala.or.jp (松木)



びわ湖・SGサマー・キャンプ お疲れさま～

2006年キャンプ長 稲田 昌平

どうも。キャンプ長をやらせていただいた“いなしょー”こと稲田昌平です。キャンパーもさることながらカウンセラーの集まりも悪く、周りから「無理やないか」と言われたキャンプでした。そんな中で、初のキャンプ長という大役を仰せつかり正直、非常に迷惑でした(笑)。

無理や無理やと言われながらも、がんばって実際やってみたところ、キャンパー達やカウンセラーの方々からも「よかった！楽しかった！」と言う声も聞け、私も空回りしながら“成功した”という手応えのようなものを感じることができ大満足しております。

これも日々、委員会ではがんばっている種ちゃんや中間さん、一人でのPDを快く引き受けてくれ、当日も盛り上げてくれたマサヨ、PCで気を吐いてくれた下ちゃんを始め、参加してくれたみんなが120%のパワーで突っ走ってくれたからやと思います。感謝！感謝！来年に向けての準備を今から着々としていこうと種ちゃんとも話をしているところです！来年もまたいろいろお助け願います！ どうもありがとうございました。

- ・開催日：2006年8月13～15日
- ・場所：大阪市立びわ湖青少年の家
- ・参加者：キャンパー(9名)、スタッフ・リーダー(27名=内かたつむり5名)



今年は大変でした

種子島 公望(SG委員長)



今年のキャンプは実は大変でした。キャンパーの数も少なかったのですが、ましてリーダーの数が少なかったのです。カウンセラーは綱渡り状態、プロパティも最少時は2人。

キャンプ長の“いなしょー”、PDの“まさよ”もホント大変やったと思います。各パートのリーダーにも感謝感謝です。

謝です。

来年は、リーダー、子どもの集め方を本気で考えなければなりません。皆さんご協力よろしくたのみます。では、また来年!!

～SGサマーキャンプに参加して①～

久しぶりの参加でした 柏尾 美紀子(めい)

2006年8月、7年ぶりに夏キャンプに参加させていただきました。“めい”こと柏尾です。本番2週間前に連絡

を受け、ほとんど準備がないままに、気づけば懐かしいびわ湖青少年の家に立っている自分がいました。

部分参加であり、事前のミーティングの参加もなく、しかもカウンセラーでもプロパティでもない…「看護師」としてのキャンプリーダー。

新人ではないけれど、新人のとき以上の不安と緊張。でもいざ輪の中に入ってしまうと、以前と変わらない、子供達の笑顔やリーダーの頑張りがあって、素直に感動して楽しめました。あまり役には立てませんでした、とても素敵な思い出となりました。

私は現在四国の瀬戸内海に面する町で、看護師として働いています。地方に出てからSGとは疎遠になっておりましたが、キャンプに呼んでいただいて嬉しかったです。

今後の活動も陰ながら応援したいと思います。



(柏尾さんはこのほど、本会の会員になって頂きました。)

～会員だより①～

またお立ち寄り下さい

岩藤 雅紀



皆さんこんにちは、ご無沙汰しております。今年の40周年記念ジャンボリーやキャンプにも参加できず、かたつむりの皆様には本当に申し訳ありませんでした。無事・盛大に行われたと聞き、安心していました。ボランティアは、やはり現場に参加してこそ苦労も楽しめる物だと思

います。

さて私は、昨年末の12月20日にカフェを自宅の近くにオープンしました。1月にはSGとかたつむりの合同新年会を開いていただきありがとうございました。

以来8ヶ月を過ぎましたが、おかげさまで、少しずつ地域のカフェらしくなってきました。体力さえ続けばずっと楽しんでやっていきたいと思っています。

旭区という地域性からして全くの住宅地であり、お年寄りも多くまた、養護学校が近くにあるせいか、ハンディキャップを抱えた方も多く来店して下さいます。4月には、大阪市立思斉養護という知的障害児の学校の高等部の初めての同窓会が店を貸し切って催されました。

40名近くの親子が集い、数少ない就職組の初任給の報告を在宅組が聞き入り横から「家にはなんぼ入れてんの」と質問が入ると「10万円の内、8万円お母さんにとられてる」と爆笑がおこるような微笑ましい光景もあり、楽しそうでした。

これからも音楽や楽しいイベントを組み入れて楽しい店にしていきたいと思っています。もしお近くにお越しの際はぜひ、お立ち寄り下さい。

『Cafe de lwacco』(大阪市旭区大宮4-14-6)

〔電話：06-6954-1809〕

～SGサマーキャンプに参加して②～

勢いと成り行きで…

衣川 将治(食堂)



キャンプお疲れさまでした。私自身、約10年ぶりのキャンプで、大きなトラブル？と、少しの緊張がありましたが、超々…ベテランの食堂さんたちに囲まれて、とても楽しいキャンプになりました。

仕事(道頓堀で居酒屋「居心伝」の店長をしています)が忙しくて、もうSGには縁がないと思っていましたが、春の40周年ジャンボリーからの勢いと成り行きで参加させて頂きました(笑)。

また来年、参加できる事を願ってます。ありがとうございました！

～会員だより②～

左手を痛めてしまって…(泣

岡村 安敏



昨年のSGキャンプ以来のご無沙汰で40周年記念事業にも参加できず、何もできず、ただメールで一大事業の取り組みの様子を見せてもらうのみでした。お手伝いできなくて申し訳なく思っています。

私の近況は、昨年9月末に滑って転倒し左手首を痛めました。治りきらず3月に手術をし、未だに週一回りハビリに通院をしています。8割方は良くなっていますが握力が未だ戻りません。仕事は配慮してもらいながら行っていますが気を遣いますね。

地域では、今年から体育振興会の会長ということで、10月1日の学区民の体育祭に向け、力不足をみんなにカバーしてもらいながら取り組んでいる毎日です。11月までの日曜日は全部つぶれそうな予定です。

子ども二人も卒業し勝手にやっており、家族それぞれが自分のペースで生活を送っております。かたつむり21のメンバーの皆さんに秋のキャンプで短時間でもお会いできればと思っています。

今は皆さんのメールを見て、活動の様子を知るのを楽しみにしています。動いていない私が言うのもヘンですが、皆さんお体に気をつけて頑張ってください。事務所のことなど色々大変でしょうが…。

今後も参加させて頂ける回数は限られるとは思いますが、どうか見捨てないでよろしくお願い致します。

～～ SGの今後の活動予定 ～～

- 10月2日(土)・3日(日) バザー (大阪市民フェスタ) 大阪城公園・太陽の広場 (大阪城ホールの南側)
- 11月5日(日) 秋の遠足 (神戸・平磯海釣り公園)
- 12月中旬(日) クリスマス会 (大阪市立光陽養護学校)

バザー用の物品提供のお願い

SGでは資金活動の一環として、上記の通り「大阪市民フェスタ」のバザーに出店することになりました。

つきましては、バザー用の物品を提供していただければ大助かりです。

次の日時に事務所にお届け下さい。

10月7日・14日(土) PM7:00～9:00 の間

10月5日・12日・19日(木) AM10:30～PM1:00

または、下記まで宅急便でお送り下さい。

572-0824 寝屋川市萱島東3-26-1

清石 真代 宛 (電話 072-821-6753)

第6回 能勢 Autumn Camp のお知らせ

「かたつむり21」恒例のオータムキャンプのご案内です。今年のテーマは“能勢の秋と囲碁ゲームの魅力”。

秋と言えばスポーツ。そうです、囲碁はスポーツ(中国では、体育科目の一つ)なのですが、社会的マナーを身につけ、右脳の開発を促し、しかも感性・洞察力・構想力・集中力・創造性に 磨きをかける優れたゲームなのです。

でも残念ながら、教えてもらう機会もなく食べず嫌いの方が多い…。今年のキャンプは、能勢の秋を知的スポーツで満喫しませんか？“何でも見てやろう”の好奇心の塊の皆さんなら、キャンプの終わる頃には囲碁の魅力の虜になっているはずです。

能勢の紅葉を満喫し、満天の星空の下でファイヤーを囲み、また、一寸お酒も楽しみながら、楽しくてちょっぴり為になるキャンプです。これまで同様、年齢不問、どなたでも参加していただけます。

是非、お友だち、お子さまやご両親、兄弟姉妹などを誘って大勢でご参加下さい。

と き : 11月18日(土)午後1時(集合)～19日(日)午後5時(解散)
ところ : ダイヘンキャンプ場 *宿泊はキャビンです。

大阪府豊能郡能勢町倉垣1909-1 電話: 0727-37-0080

集合場所: ホテル阪急インターナショナル1階正面玄関(車寄せ前)・解散も同所
大阪市北区茶屋町19-19 *昼食を済ませておいて下さい。

参加費 : 社会人 3,500円 (学生以下無料)

持ち物 : 防寒用セーター類、シュラフ(持っておられる方のみ)、懐中電灯、洗面具など、自己責任でアルコール類、おつまみ類“大歓迎”

締切日 : 10月27日(金) (返信用はがき)必着 (FAX・メールも可)

*詳細は、別紙の案内をご覧ください。



2005年 Autumn Camp の一コマ



ちょっと言わせてもらいまっせ

『障害者自立支援法』

黒川 芳朝(かたつむり21会長)

本年4月から一部施行された障害者自立支援法に基づき、障害者に福祉サービス費用の原則1割負担が義務づけられました。ところが、4割の地方自治体が独自の軽減策を実施したり、導入を決めたりしているそうです。

また、この10月から始まる障害児施設の利用料負担でも、同様の軽減策に踏み切る自治体が相次いでいるといわれます。

収入の少ない障害者が従来に比べて急激な負担増となるのを緩和する措置で、当然といえば当然ですが、そもそも国の制度を自治体の実態に即してカバーしなければならないこと自体、欠陥があると言わざるを得ません。

加えて、軽減措置を取る自治体とそうでない自治体、軽減措置を取る自治体の間でも内容は一律ではなく、住む地域により障害者の負担が異なるという“地域格差”が生じています。

格差是正、再チャレンジが最近のキーワードですが、障害者の自立にとっては空しく聞こえます。

衣類提供のお礼とお願い

(社福)大阪婦人ホーム(現施設=大阪市平野区)では、女性用、子供用の衣類他、ジャージやバギー等も必要とされています。ご不要になったものがありましたら、引き続きご協力をお願いします。

岡村さん、村瀬さんありがとうございました。職場の皆さまにもお礼申し上げます。

【連絡先: 072-792-2488 杉野 雅子】

◆ 住所・電話・メールアドレスの変更は事務局長松木までお知らせ下さい。

編集後記

新しいプリンターを導入し、いままでの何倍?もの速さで印刷できるようになりました。

今年もSGのキャンプが終わり、かたつむり21の秋のキャンプを迎えようとしています。遠くにいて参加できない方、近くにいても忙しくて参加できない方、この広報誌がかけはしになればと願っています。

身の回りのニュース、思い、何でもお知らせください。お待ちしております。(清石 和子)